

「新町建設計画」変更（案）パブリック・コメントの意見要旨と町の考え方

番号	意見の要旨	町の考え方	修正の有無の内容
1	<p>海から見る大島は、次第に堤防・テトラに囲まれて悲しい景観になりつつあります。防災のための道路整備、海岸の整備も必要とは思いますが、自然は一度手を加えると二度と戻ってきません。自然に配慮した計画をもう少し積極的に前面に出した計画を望みます。</p>	<p>周防大島を取り囲む海・海浜は美しい景観として、町の大切な財産であることはまさにご意見のとおりですが、景観が美しい反面、周囲が海で囲まれていることは防災面では非常に不利であることもまた事実です。</p> <p>本町は中山間地域特有の地形をなし、地盤高が低く、狭い平地に住宅が密集している集落が多数存在します。</p> <p>こういった集落に住む地元住民の方々は、高潮や台風来襲の際の浸水や家屋の倒壊等の災害に不安を抱いており、護岸や離岸堤の施設整備を望む地元からの強い要望を受け事業を実施しており、これらの施設は、津波等に対しても一定の防災効果が見込まれています。</p> <p>しかしながら、これらの大型の施設整備は、町の予算では賄えるものではなく、国・県の補助金に多くを頼っているところですが、この補助金で実施する事業は、比較的安価で強度のあるコンクリート製を使うことが標準となっており、これが現在防災上もっとも適していると考えられています。</p> <p>また、離岸堤の位置や高さ、護岸の形状などは防災上最も有効かつ効果的な位置や形状となっていますが、施工につきましては背後に住宅や建物、道路等がある区間や、侵食から国土を保全する必要のある地区に限られます。</p> <p>防災のための道路整備、海岸整備は住民の方々の生命や財産を守ることを第一に考え、位置や形状等を工夫し、「新町建設計画」にある自然環境の保全に配慮してまいります。</p>	<p>無</p>